

項目	評価指標 及び 具体的目標	自己評価		自己評価結果の考察・分析および改善策等	関係者評価		学校関係者評価委員の意見
		項目	総合		項目	総合	
I 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進							
1	家庭教育支援の充実に努める。 ・啓発活動の推進 ・全校生徒の三者面談実施	3.1		○メディアコントロールウィークや保健だより等を活用して積極的に啓発を行った。 ○夏季休業中にすべての家庭と個人面談を行った。	3.3		○概ね、目標を達成している。 ○SNSについての啓発活動は引き続き、積極的に行って頂きたい。 ○生活の様子を知る為に全生徒の三者面談を実施して頂いたことは大変有難い。 ○ホームページの一方的な情報公開だけでなく、学校と家庭の相互理解において情報共有がしっかりされている。
2	学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。(PTA活動) ・積極的な情報発信 ・PTA活動の見直し ・学校運営協議会との連携 ・地域人材との積極的連携	3.1	3.1	○ホームページを更新し、学校の様子を提供した。 ○コロナ明けのPTA活動を精選しながらすすめることができた。 ○学校運営協議会で生徒育成の観点から設定した目標を共有し、課題解決に取り組むことができた。 ○各学年の総合的な学習の時間で、地域人材を積極的に活用し、キャリア教育を推進できた。	3.5	3.7	○地域の人材から学ぶキャリア教育は素晴らしく地域人材との積極的な連携の目標を達成している。また、地域活動にも積極的に生徒が参加していた。 ○ホームページの更新など情報提供の目標を達成できていると思う。 ○PTA活動を精選しながら進めたことは、持続的なPTA活動の為に必要で大きく評価できる。 ○学校が地域と一体になって教育活動に取り組んでいることが良く分かる。生徒主体で目標を設定し、その運用方法について学校運営協議会で意見を求め、段取りを考えて取り組んでいく姿勢に生徒たちの成長が見え、感動させられる。
II 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人材を育む教育の推進							
1	読書活動を推進する。 ・貸出冊数3500の達成 ・読書事務との連携	3.0		○図書事務と連携を図り、唐瀬原中と生徒による図書紹介カードの交換を実施するなど、読書活動を推進することはできた。 ○貸出冊数3000には達することができなかった。 ○図書寄贈や図書室の充実した飾り付け等もあり、入室者が1.2倍増加した。	3.3		○生徒数が減少する中で、貸出3500冊の設定は妥当だったかを検討する必要がある。 ○貸出冊数に到達しなかったが、図書室の展示で本の紹介や飾り付けを工夫し、入室者を増やしたことで本を読む機会を増やしたことは評価できる。今後の学力向上も含め期待したい。 ○唐瀬原中と紹介カードの交換を実施するなど連携は携わる先生方のご尽力も大きいと思う。同世代での情報交換は新鮮で良い刺激になると思われる。
2	確かな学力を育む教育を推進する。 ・各学年実力テスト地区平均を目指す。 ・宮崎大学との連携、ICTの効果的な活用 ・授業力の向上 ・家庭学習の充実	3.1		○宮崎大学と連携し、読解力向上を目指した取組を、学年ごとに行った。 ○学力向上を図るため、アウトプットを意識した授業改善を行った。 ○タブレット等のICT機器を活用した授業を充実させられなかった。	3.0		○学力テストは、地区平均を目指して頑張ってもらい、学力の向上は重要課題であるため、宮崎大学との連携は生徒の意識を高めるためにも継続を願う。 ○アウトプットを意識した授業改善は高く評価でき、今後はICT機器を活用した授業も充実することを願う。 ○宮崎大学との連携を図り、教科ごとに読解力向上を意識した授業改善を進めて頂いたことは大変有難い。今後は、その授業についての評価と成果があると良い。ICT機器を活用していくことで、情報収集や伝達、学習の効率化、さらには生徒自身が主体的に学習に取り組んでいけるような教育に期待したい。
3	人権を尊重し豊かな心を育む教育を推進する。 ・いじめ実質ゼロ ・道徳教育・人権教育の推進 ・いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	3.2		○学校生活アンケートを毎月実施し、いじめ不登校対策委員会での対策を行い、いじめの早期発見・解決に努め、把握したいじめの解消に努めた。 ○道徳の授業や平和学習、命を大切に教育、人権学習集会等を通して、人権を尊重し豊かな心を育む教育を実践した。 ○関係機関と連携し不登校傾向からの改善した事例もあるが、全件解決には至っていない。	3.7		○毎月アンケートを行い、いじめの早期発見・解決に努めたこと、関係機関との連携は評価できる。 ○学校生活アンケート等、細やかな対応で早期発見、解決に努めいじめの解消に繋がったことは大変素晴らしい評価できる。 ○不登校には学校生活以外にも様々な要因もあるかと思う。可能な限り寄り添っていただけるとありがたい。 ○人が共存して生きるには、お互いの人権を尊重することが基盤になると思う。地域の人材を活用し、学校間で何か実践出来る場をつくり、その体験を通して培っていかないと尚良い。
4	特別支援教育を推進する。 ・個に応じた特別支援教育の充実 ・研修の推進	3.1	3.2	○毎週水曜日に生徒理解の日を設け、全職員で個に応じた指導の共通理解を図った。 ○夏季休業中に特別支援教育の研修を行い、教職員の資質向上を図った。	3.3	3.7	○目標・方策通りの取組が出来ており職員の資質向上につながっている。 ○生徒理解の日を通して個々の特性に応じた指導を熟考頂けるのは有難い。 ○特別支援の研修など取組に期待する。 ○生徒がお互いの個性を認め合い、協働する場を通して思いやりの心を育ててほしい。 ○定期的に先生方全員で生徒一人一人に対応した指導をして頂けることには大変有難い。

5	郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育を推進する。 ・農業大学校との連携 ・小学校、地域と連携した取組の推進 ・ふるさと学習の推進	3.1	○農業大学校の協力をいただき、カボチャとサツマイモの植え付け・収穫を体験した。軽トラ市ではサツマイモを販売し、地域の方と交流した。 ○各学年の総合的な学習の時間で、地域人材を積極的に活用し、ふるさと学習を推進できた。 ○生徒会が主体となり、小学校・地域との合同グリーン作戦を実施できた。	3.3	○目標にある地域活動だけでなく、地域主催の活動にも各生徒が積極的に参加していた。 ○生徒会が主体となって進めた小中合同グリーン作戦は小学校や地域と連携して素晴らしい活動ができた。今後も生徒が主体となり取り組んでいけるよう期待する。 ○農業体験で植え付けから収穫そして販売までの一連の取組は川南町ならではの体験学習として最高のカリキュラムであり、その体験や人との繋がりから郷土愛が育まれるため、今後も継続して欲しい。
6	キャリア教育を推進する。 ・地域学校協働活動推進員等との連携 ・地域と連携したキャリア教育の推進	3.3	○地域学校協働活動推進員と密に連携を図り、地域人材等を活用したキャリア教育を推進できた。	3.3	○今年は無事に2日間の職場体験を実施できた。 ○キャリア教育の推進はできていると思う。特に職場体験学習は生徒が成長させるものであり、今後も続けて欲しい。 ○キャリア教育コーディネーターや多くの地域の方々の協力を得て、生き方や働き方を学び、職場体験学習でいろいろな経験が出来ている。
7	社会の変化に対応した多様な人材を育む教育を推進する。 ・オンライン授業実施の推進 ・ICTの効果的な活用研修 ・ICT支援員の積極的な活用	2.9	○ICTの効果的な活用について研修を行ったり、職員間で具体的な指導について情報交換を行ったりしているが、生徒への指導については教員の差が大きい。	2.7	○自己評価のとおり。 ○企業との連携など、町単位での検討も必要だと思う。 ○ICT環境の充実は日々進化が目覚ましいため、先生方の負担も大きいと考える。 ○社会情勢の変化に伴い、先生方も新しい教育方針や教育ツールにおいて、日々の業務が困難にみえる。働き方改革も含め、先生方の補助やサポートが出来る教育ツールや人的環境の整備も検討する必要がある。

III 教育を支える体制や環境の整備・充実

1	教職員の資質向上と働き方改革の推進に努める。 ・交通事故・違反、事案発生ゼロ ・コンプライアンスチェック・研修 ・業務の見直し	3.1	○業務の見直しを行い、授業の準備等に力がかかるための働き方改革を推進できた。 ○定期的なコンプライアンス項目のチェックや県教委が提供しているコンプライアンス通信等を活用し、個々の意識向上を図った。	3.3	○年度途中での職員の退職は、授業にも影響を与えた。 ○業務の見直しを行い授業の準備等に力がかかる為の働き方改革を推進できたことは、教員、生徒双方にとって利点が大きく大変評価できる。 ○定期的なコンプライアンスチェックを心がけていることはとても良い。 ○先生方の働き方を見直しかつ計画的な質の高い研修に努めて頂けることは有難い。
2	安全、安心な教育環境の整備・充実に努める。 ・けがや病気の未然防止 ・定期的な安全点検 ・危機管理マニュアルの確認	3.3	○状況に応じた対策を行うことができ、大きな事故がなかった。 ○施設については、毎月安全点検を行い、川南町教育委員会と連携しながら修繕を行った。 ○施設の老朽化がすすみ、修繕箇所が増えている。	3.3	○施設の老朽化によるハード面の整備には限界があるが、感染症対策のソフト面は行事の中止や延期もなく評価できる。 ○感染症対策などは留意して頂いている。大きな日程変更などもなく良かった。 ○安全点検に努めて頂いており、危機管理マニュアルの確認がなされている。

IV 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進

1	学校体育の推進に努める。 ・体力向上プランの推進 ・適正な部活動の推進	3.2	○体力向上プランに基づいた実践で体力向上に努めた。 ○部活動は平日、休日とも適正に運営されている。 ○部活動指導員が配置され、効果的な部活動の推進につながっている。	3	○部活動の推進に関しては、地域人材の活用を図り、部活動指導員が配置され、効果的な運用に繋がっていることは評価できる。 ○体力向上を評価する具体的な指標があると評価しやすくなると思う。 ○体力向上プランに基づいた実践で生徒の体力が向上することを期待したい。また、自力での登校の結果が結びつくことを願う。 ○部活動において、顧問の先生方は、休日が少ないなどの状況がでてくるため、適正に運営されているのであれば良かった。
---	---	-----	--	---	--